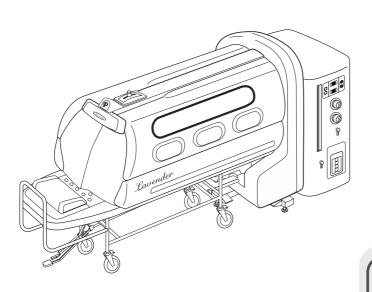
取扱説明書

Lavender

開閉ドーム式シャワー入浴装置　ラベンダー

ＬＶ－１００

＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

＊「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-092⑧M5

もくじ

安全上のご注意 …… 3
各部の名称 …… 6
組み合わせ …… 9
ご使用になる前に …… 10
　電源 …… 10
各部の操作方法 …… 11
　扉の開閉 …… 11
　カーテンの開閉 …… 11
　ボディシャワー …… 12
　胸部シャワーの方向調節 …… 15
　ボディシャンプーの使用について …… 15
　薬液洗浄の操作手順 …… 16
　シャンプー・薬液投入レバー戻し忘れ防止機能 …… 16
　ボディシャンプー・薬液の補充 …… 17
　ハンドシャワー …… 18
　シャワードームの旋回 …… 19
入浴・出浴の手順 …… 20
お手入れの仕方 …… 22
このようなときには …… 23
機器の保守・点検について …… 24
保証とアフターサービス …… 25
仕 様 …… 26

用途

本製品は介助を必要とする入浴者に心地良く安心して入浴していただくと共に介助者の負担を軽くすることを目的としたシャワー入浴装置です。

特長

- **衛生的で経済的な入浴装置。**
  シャワー入浴のため、浴槽にお湯を溜める必要がなく、時間的にも経済的にも効率の良い入浴システムです。更にお湯につからない入浴のために衛生上秀れています。
- **自由自在なアプローチ。**
  シャワードーム下部に浴槽が無く、両側の開閉カバーが開閉する構造のため、ストレッチャーをシャワードームにセットする際、左右、中央どこからでもアプローチが楽に行えます。
- **浴室に広い空間を確保。**
  シャワードームを使用しないときにシャワードーム本体を左右90°旋回させ、壁側に格納することにより、浴室の空間を有効活用することができます。
- **給湯ユニットをオプションで用意。**
  施設の給湯設備が充分でない場合に、オプションを２種類用意しています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源・給湯水・給湯水圧

⚠警告

サービスマン以外は、電源の接続を行わない
正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

サービスマン以外は、給湯水の接続を行わない
正しく接続しないと水もれ等の故障や事故の原因になります。

適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理
適正範囲を外れると、給湯やシャワーの湯温が急変することがあり、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。(P.9 給湯水圧参照)

⚠注意

使用電圧は AC100V ±5%の範囲内で使用する
範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。

薬液・ボディシャンプー

⚠注意

シャンプー液を投入するときは、必ず給湯ユニットから湯が送られている状態で行なう
シャンプー液だけを噴射させるとノズルの目づまりを起こします。

ボディシャンプーの使用後は、必ずお湯を流し、配管内を洗浄する
ノズルの目づまりを防止するためにお湯を流してください。

薬液を投入するときは、必ず給湯ユニットから湯が送られている状態で行なう
薬液だけを噴射させると機器の故障の原因となります。

20%ヒビテングルコネート液（ビグアナイド系）以外の薬液を使用しない
機器の破損につながる恐れがあります。

タンクの液体と同じものを正しく希釈して補充する
故障や肌あれの原因になります。

ボディシャンプー･薬液を取り扱うときは、容器に書かれている使用上の注意をよく読む
各注意事項をお守りください。

ボディシャンプーの一部には、浴槽等を侵すものもあります
詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。

ボディシャワー及びハンドシャワー

⚠ 警告

ボディシャワー入スイッチを押す前に、必ず温度計で貯湯タンク内の温度を確認

安全装置が故障した場合、入浴者にやけどを負わせる危険性があります。

ボディシャワーの温度を必ず手で確認

排水ホースから出てくるお湯の温度を手で確認してください。また、ボディシャワーミキシングにより温度調節した後でも、使用中の給湯・給水の圧力変化や極端な温度変化により、温度が変わることがあるので、入浴中も時々手で温度を確認してください。

ハンドシャワーをかけたままにして入浴者から離れない

介助者が離れている間に温度が急変し、やけどをする恐れがあります。

ハンドシャワーを入浴者にかける前や使用中にも必ず手で湯温を確認

- 熱い湯が配管内に溜まっている場合がありますので、確認する前に安全な所に吐水して、最初の湯は捨ててください。
- 温度調節ノブを回した後、湯温が設定温度になるまでに数秒かかりますので注意してください。
- 温度調節ノブで温度調節した後でも、給湯・給水の水圧の急変により、シャワーの温度が急に変わることがありますので常に手で湯温を確認してください。

ハンドシャワーの温度調節ノブはゆっくり回す

急に回すと温度が急激に変化し、やけどをする恐れがあります。

高温でハンドシャワーを使用した後は、必ず温度調節ノブを元に戻す

そのままにしますと、次に使用するときにやけどをする恐れがありますので、低温側に回して、しばらく湯を流してください。

⚠ 注意

シャワー入浴前にお湯を温める

配管内に残っている湯が冷めて、ボディシャワーの開始直後に冷たい水が噴射される場合があるので、あらかじめ使用直前の入浴者のいない状態でストレッチャーを連結してシャワーを３分程出し続け、お湯と配管を温めておく作業を行ってください。

ストレッチャーとシャワードームを連結してからお湯を出す

連結しないでお湯を供給すると、お湯が周りに飛び散ります。

ハンドシャワー及びシャワーホースを落としたり、踏んだりしない

破損して水漏れの原因になります。

ハンドシャワーの流量調節ノブはゆっくり回す

ノブを閉の方に急に回すと、水圧が高くなり配管から水漏れを起こす原因になります。

使用後は流量調節ノブで湯を止めてから、シャワーホース内の加圧水をすてる

手元ボタンのみでシャワーの ON/OFF 操作を行っていると、シャワーヘッドの寿命が短くなります。またホース内に加圧された水を残したままにすると故障の原因になります。

シャワードーム

⚠ 注意

扉の開閉操作をするときは安全を確認する

入浴者の手足を挟むことがないように注意してください。また、危険を感じたらすぐに停止できるようにスイッチのそばから離れないでください。

扉開閉時には近寄らない

扉は外側へ膨らんで開閉するので、扉の近くには立たないでください。接触してけがをする恐れがあります。

シャワードームを旋回時注意

動作範囲内に別の入浴者や障害物がないことを必ず確認してください。
必ず扉を全開状態にし、ゆっくり旋回させてください。

入浴から出浴

担架に乗せたら、必ず安全ベルト及び手すりを使用する
ベルトをしなかったり、固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトで擦れてけがをする恐れがあります。

担架上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意
狭い担架上での移乗・洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら十分注意して作業を行い、洗身時はベルトを使用してください。

注意

入浴操作手順を守る
違う操作手順を行うと、配管がうまく接続されず、破損するなど予期せぬ事故の原因となりますので、絶対に行わないでください。

移乗する床面に注意
段差がある床面や、滑り易い床面での移乗は事故の原因になりますので行わないでください。

入浴時にストレッチャーを、正しくセットする
正しくセットされていないと扉に接触してけがをする恐れがあります。

シャワー中は扉を開けない
シャワー噴射中でも扉は開きますが、開けると周りにお湯が飛び散りますのでご注意ください。

緊急時は、速やかに入浴者を出す
停電等の緊急時はシャワードームからストレッチャーを速やかに引き出してください。また扉を手動で開いて入浴者をシャワードームの外へ出すこともできます。

ご使用後

注意

長期間使用しないときは、必ず水抜きをする(LV-120のみ)
水抜きをせずに長期間放置するとポンプ故障の原因になりますので、必ず水抜きをする必要があります。水抜き作業はサービスマン以外の方は行わないでください。完全に水が抜けず、故障の原因になります。最寄りの営業所に相談してください。

操作スイッチにシャワー等で水をかけない
水がかかると電気系統の故障の原因になります。

緊急時以外は、手動で扉を開けない
床面に油が漏れる場合があります。

この製品は、一部に天然ゴムを使用しています
かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。

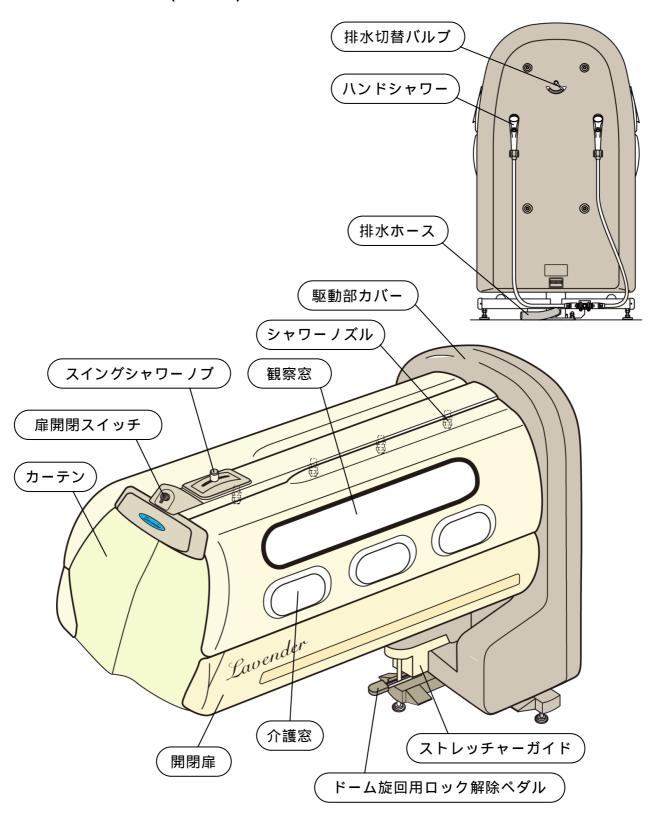
使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる
湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

使用後は、必ず製品の電源を切る
事故を防止するため、電源を切ってください。

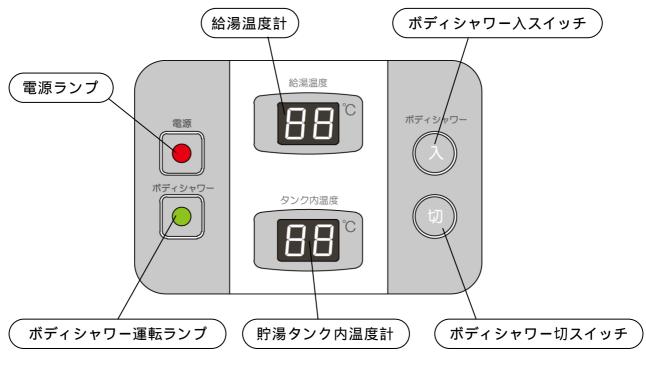
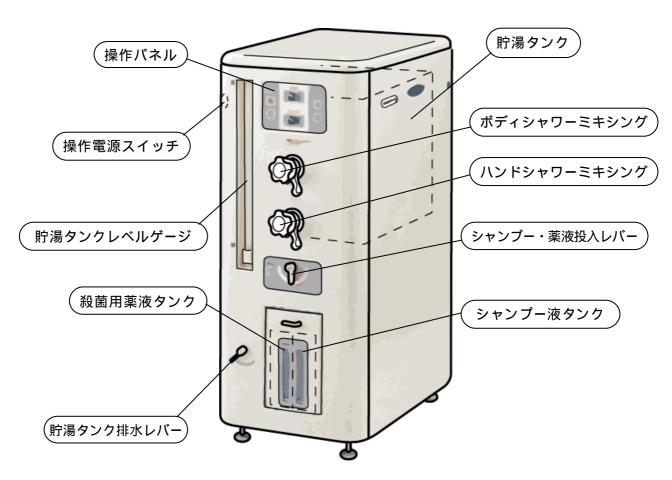
納入時のビニールカバーは、破棄する
製品にかけて使用すると、錆などが発生しやすくなるので、絶対に使用しないでください。

カーテンの損傷に注意
ほころび始めたり、切れかかってきたら、新しいカーテンと交換してください。切れた部分でけがをする恐れがあります。

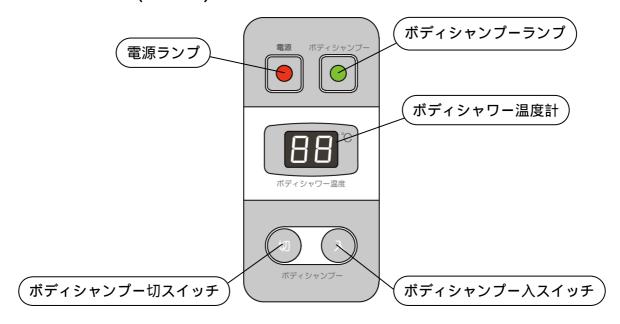
各部の名称

シャワードーム(LV-100)

オプション
貯湯タンク付給湯ユニット(LV-120)

操作パネル

操作パネル
貯湯タンク
操作電源スイッチ
ボディシャワーミキシング
ハンドシャワーミキシング
貯湯タンクレベルゲージ
シャンプー・薬液投入レバー
殺菌用薬液タンク
シャンプー液タンク
貯湯タンク排水レバー

オプション
給湯ユニット(LV-130)

操作パネル

ボディシャワーミキシング
ボディシャワーバルブ
操作パネル
操作電源スイッチ
SAKAImed
ハンドシャワーミキシング
シャンプー液タンク

組み合わせ

シャワードーム　　　　　　　　　　・・・・LV-100

✹ 周辺装置(別売り)

貯湯タンク付給湯ユニット　　　　・・・・LV-120
給湯ユニット　　　　　　　　　　・・・・LV-130

担架付ストレッチャー　　　　　　・・・・LV-110
高さ調節式担架付ストレッチャー　・・・・LV-140
水受トレイ（ストレッチャー用）　・・・・LV-150

操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

設備条件によるシステム組み合わせ例

組み合わせ	選　定　条　件
シャワードーム　1台 担架付ストレッチャー　1台	・施設側で、温度や圧力に変動のない安全かつ十分な適温水の給湯設備がある場合は、シャワードームのみで入浴することが出来ます。 ・ミキシング後の適温水吐出圧力 100 ㎪ (1.0 kg/㎠)以上でかつ吐出湯量 20 ℓ/min 以上。
シャワードーム　1台 貯湯タンク付給湯ユニット 1台 担架付ストレッチャー　1台	・施設側の給湯設備からの適温水の供給能力が十分でない場合や、安全で安定したシャワードームへの給湯をお望みの場合は、適温水を一定量貯めるタンクの付いた、吐出温度安全制御機構付きの貯湯タンク付給湯ユニット（LV-120）をご用意しています。 ・使用圧力…100 ㎪(1.0 kg/㎠)以上 300 ㎪(3.0 kg/㎠)以下 ・最大圧力比…2：1
シャワードーム　1台 給湯ユニット　1台 担架付ストレッチャー　1台	・適温水の供給能力があっても、温度や圧力の変動に不安がある場合には、一定の温度範囲のお湯のみシャワードームへ供給する吐出温度安全制御機構の付いた給湯ユニット（LV-130）をご用意しています。 ・使用圧力…200 ㎪(2.0 kg/㎠)以上 300 ㎪(3.0 kg/㎠)以下 ・最大差圧…100 ㎪(1.0 kg/㎠) （給水圧力の方が高いこと）

警告　適正圧力及び圧力比範囲となるよう管理

適正範囲を外れると、給湯やシャワーの湯温が急変することがあり、入浴者及び介助者がやけどをする恐れがあります。

ご使用になる前に

ご使用前に本製品についてP.24の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

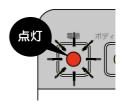
本製品は設置時に電源は接続されています。電源のON/OFFは、配電盤内にある本製品用安全ブレーカーの入り/切りで行ってください。

シャワードームのみの場合

浴室のシャワー入浴装置用電源を入れてください。

シャワードーム＋給湯ユニット(LV-120またはLV-130)の組み合わせの場合

浴室のシャワー入浴装置用電源を入れてください。

次に給湯ユニットの操作電源スイッチを入れて、電源ランプが点灯することを確認してください。

ご注意 LV-120は、シャンプー・薬液投入レバーが「止」の位置にないと電源が入りません。詳しくは、“P.16 シャンプー・薬液投入レバー戻し忘れ防止機能”の項をお読みください。

●ご使用中に…

万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

各部の操作方法

扉の開閉

扉の開閉は、前面のカーテンの上にあるスイッチで行います。

◆ 扉を開ける

スイッチを開にセットすると扉が上昇し、全開の位置で停止します。停止したらスイッチを止の位置に戻してください。

◆ 扉を閉める

スイッチを閉にセットすると扉は下降し、全閉の位置で停止します。停止したらスイッチを止の位置に戻してください。

◆ 扉を停止

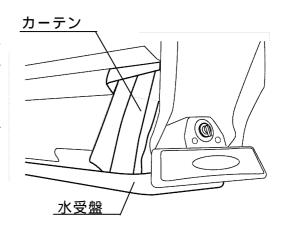
開閉の途中で、スイッチを止の位置に戻すと、扉を任意の位置で停止させることができます。

注意　・扉の開閉操作をするときは安全を確認する

・扉開閉時には近寄らない

カーテンの開閉

入浴中は、水ハネを防ぐとともにシャワードーム内の保温を高めるために、カーテンを使用してください。

扉を開ける場合は、左右のカーテンを開け扉上部の水受盤にカーテンの裾を入れてください。（水滴垂れ防止）

ボディシャワー

シャワードームのみの場合

お客様にあらかじめミキシング、止水栓の付いた給湯設備を用意していただくこととなります。

取り扱い方法を十分熟知された上で、操作するようお願い致します。

1 シャワードームの開閉扉が完全に閉まっていることを確認して、シャワードームの駆動部カバーにある排水切替バルブを排水にセットします。

2 止水栓で湯量の調節をし、ミキシングで温度調節を行います。

3 排水ホースより出て来るお湯が適温水であることを確認した後、排水切替バルブを給湯にセットして、シャワーノズルからお湯を噴射します。

警告　ボディシャワーの温度を必ず手で確認

排水ホースから出てくるお湯の温度を手で確認してください。また、ミキシングにより温度調節した後でも、使用中の給湯･給水の圧力変化や極端な温度変化により、温度が変わることがあるので、入浴中も時々手で温度を確認してください。

注意　・シャワー入浴前にお湯を温める

冷たい水が噴射される場合があるので、あらかじめ使用直前の入浴者のいない状態で、お湯と配管を温めておく作業を行ってください。

・ストレッチャーとシャワードームを連結してからお湯を出す

シャワードームと貯湯タンク付給湯ユニット（LV-120）の場合

貯湯タンク付給湯ユニットは、一旦貯湯タンクに貯めた適温水を内蔵のポンプでシャワードームに供給します。

①貯湯タンクへの給湯

1 給湯ユニットの貯湯タンク排水レバーがしっかり閉じていることを確認します。

2 ボディシャワーミキシングの流量調節ノブを全開にして温水を貯湯タンク内に給湯します。

3 操作パネルの給湯温度とタンク内の温度を見ながら、温度調節ノブを動かして給湯温度を設定します。

（給湯温度が 45℃以上になるとデジタル表示が点滅して、高温を知らせます）

4 タンク内の水位が所定の位置になると給湯は自動停止します。

②貯湯タンクからシャワードームへの給湯

1 シャワードームの開閉扉が完全に閉まっていることを確認し、シャワードームの駆動部カバーにある排水切替バルブを排水にセットします。

2 操作パネルのボディシャワー入スイッチを押して、お湯を貯湯タンクからシャワードームへ給湯します。

 警告　**ボディシャワー入スイッチを押す前に、必ず温度計で貯湯タンク内の温度を確認**

安全装置が故障した場合、入浴者にやけどを負わせる危険性があります。

3 排水ホースより出て来るお湯が適温であることを確認した後、排水切替バルブを給湯にセットして、シャワーノズルからお湯を噴射します。その間、貯湯タンクには自動的にお湯が補給されます。

 警告　**ボディシャワーの温度を必ず手で確認**

排水ホースから出てくるお湯の温度を手で確認してください。また、ボディシャワーミキシングにより温度調節した後でも、使用中の給湯・給水の圧力変化や極端な温度変化により、温度が変わることがあるので、入浴中も時々手で温度を確認してください。

4 給湯を停止する場合は、ボディシャワー切スイッチを押します。

 注意　**・シャワー入浴前にお湯を温める**

冷たい水が噴射される場合があるので、あらかじめ使用直前の入浴者のいない状態で、お湯と配管を温めておく作業を行ってください。

・ストレッチャーとシャワードームを連結してからお湯を出す

ご注意　36℃～44℃の範囲以外は給湯できません。安全装置が働き自動排水されます。

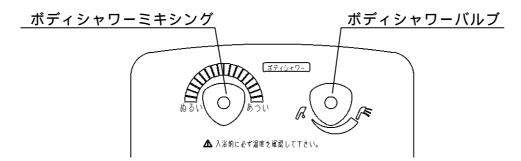
③貯湯タンク内の排水

入浴終了後は、貯湯タンク内に残った水を、貯湯タンク排水レバーを出にセットして必ず排水します。

シャワードームと給湯ユニット(LV-130)の場合

1 シャワードームの開閉扉が完全に閉まっていることを確認して、シャワードームの駆動部カバーにある排水切替バルブを[排水]にセットします。

2 ボディシャワーバルブで流量調節を行ないます。

3 操作パネルのボディシャワー温度を見ながら、ボディシャワーミキシングを左右に回して給湯温度を設定します。

4 排水ホースより出て来るお湯が適温水であることを確認した後、排水切替バルブを[給湯]にセットして、シャワーノズルからお湯を噴射します。

 警告　**ボディシャワーの温度を必ず手で確認**

排水ホースから出てくるお湯の温度を手で確認してください。また、ボディシャワーミキシングにより温度調節した後でも、使用中の給湯・給水の圧力変化や極端な温度変化により、温度が変わることがあるので、入浴中も時々手で温度を確認してください。

5 ボディシャワーバルブを閉めて、給湯を停止します。

 注意　**・シャワー入浴前にお湯を温める**

冷たい水が噴射される場合があるので、あらかじめ使用直前の入浴者のいない状態で、お湯と配管を温めておく作業を行ってください。

・ストレッチャーとシャワードームを連結してからお湯を出す

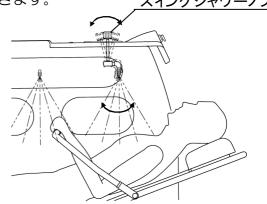
36℃～44℃の範囲以外は給湯できません。安全装置が働き自動排水されます。

胸部シャワーの方向調節

胸部のシャワーは、シャワードームのスイングシャワーノブを左右に動かすことにより、シャワーノズルの方向を変えることができます。

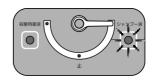
1 スイングシャワーノブを反時計方向に回して緩めます。

2 スイングシャワーノブを左右に動かし、入浴者の胸にシャワーが十分当たるように調節します。

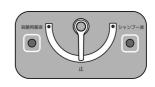
3 スインングシャワーノブが動かないようにノブを時計方向に回し、固定します。

ボディシャンプーの使用について (LV-120，LV-130)

入浴時にボディシャンプーを使用する際には、下記の手順で操作してください。

貯湯タンク付給湯ユニット（LV-120）の場合

1 給湯ユニットから湯が送られている状態で、シャンプー・薬液投入レバーを［シャンプー液］にセットし、レバー脇のランプが点灯することを確認します。

2 シャワーノズルよりシャンプー液が混合したシャワーが噴射します。

3 ボディシャンプーの使用を止めるときは、シャンプー・薬液投入レバーを［止］にセットします。

4 ボディシャンプー使用停止後、ボディシャワーを１分以上噴射させ配管内を洗浄します。

給湯ユニット（LV-130）の場合

1 給湯ユニットから湯が送られている状態で、ボディシャンプー［入］スイッチを押し、ボディシャンプーランプが点灯することを確認します。

2 シャワーノズルよりシャンプー液の混合したシャワーが噴射します。

3 ボディシャンプーの使用を止めるときは、ボディシャンプー［切］スイッチを押します。

4 ボディシャンプー使用停止後、ボディシャワーを１分以上噴射させ配管内を洗浄します。

注意
- **シャンプー液を投入するときは、必ず給湯ユニットから湯が送られている状態で行なう**
- **ボディシャンプーの使用後は、必ずお湯を流し、配管内を洗浄する**

ご注意 36℃～44℃の範囲以外は給湯できません。安全装置が働き自動排水されます。

薬液洗浄の操作手順 （LV-120のみ）

入浴後にシャワードーム・ストレッチャーの薬液洗浄する場合は、下記の手順で操作してください。

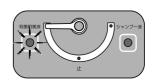
1 ストレッチャーを入浴時と同様にシャワードームにセットします。

2 駆動部カバーにある排水切替バルブを給湯にセットします。

3 操作パネルのボディシャワー入スイッチを押してから、シャンプー・薬液投入レバーを殺菌用薬液にセットし、レバー脇のランプが点灯することを確認します。

4 シャワーノズルより薬液が混合したシャワーが噴射します。

5 薬液の使用を止めるときは、シャンプー・薬液投入レバーを止にします。

6 薬液使用後、ボディシャワーを１分以上噴射させ配管内を洗浄します。

注意　薬液を投入するときは、必ず給湯ユニットから湯が送られている状態で行なう

ご注意

- 薬液洗浄後は、シャンプー薬液投入レバーの「止」を確認してください。誤って薬液の噴射を防止するために、次回使用時に電源が入らない仕組みとなっています。
- 36℃～44℃の範囲以外は給湯できません。安全装置が働き自動排水されます。

シャンプー・薬液投入レバー戻し忘れ防止機能 （LV-120のみ）

電源スイッチを入れる際、シャンプー・薬液投入レバーが「止」の位置になければ、電源が入らない仕組みとなっています。

これは１日の入浴が終わった後、薬液で殺菌を行ない、レバーを薬液側にしたまま電源を切り、次の日、薬液側にレバーがある事を知らずに入浴操作を行なってしまい、入浴者に薬液がかかってしまうことを防止するための機能です。

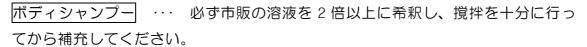
ボディシャンプー・薬液の補充 (LV-120,LV-130)

貯湯タンク付給湯ユニット（LV-120）の場合

ボディシャンプー・薬液の残量は、レベルゲージで確認することができます。

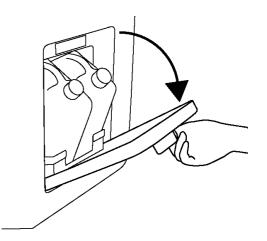
ボディシャンプー・薬液の残量が少なくなってきたら、カバーの取手を手前に引き、タンクのキャップを外します。付属品の薬液挿入補助ロートを使用してタンクに補充します。

薬液　･･･　20%ヒビテングルコネート液（ビグアナイド系）を 2 倍希釈して補充すると 0.05%の濃度となってシャワーから噴射されます。
薬液の取扱説明書に従って希釈し、撹拌を十分に行ってから薬液を補充してください。

ボディシャンプー　･･･　必ず市販の溶液を 2 倍以上に希釈し、撹拌を十分に行ってから補充してください。

◎補充の際には、タンクがボディシャンプー用か薬液用か確認してから行ってください。

給湯ユニット（LV-130）の場合

LV-130はボディシャンプーのみとなります。LV-120と同様に補充してください。

注意
- **タンクの液体と同じものを正しく希釈して補充する**
- **20%ヒビテングルコネート液(ビグアナイド系)以外の薬液を使用しない**
- **ボディシャンプー・薬液を取り扱うときは、容器に書かれている使用上の注意をよく読む**
- **ボディシャンプーの一部には、浴槽等を侵すものもあります**

ハンドシャワー

シャワードームには､ハンドシャワーが駆動部カバーに2か所装備されています｡2基の切り替えは手元ボタンのON/OFFで行います｡

 注意　ハンドシャワー及びシャワーホースを落としたり、踏んだりしない

シャワードームのみの場合

シャワードームのみの場合、お客様があらかじめミキシング、止水栓の付いた給湯設備を用意していただくこととなります。

取り扱い方法を十分熟知された上で、操作するようお願い致します。

1 ミキシングでシャワーの温度調節を行います。

 警告　・シャワーを入浴者にかける前や使用中も絶えず手で温度を確認

熱い湯が配管内に溜まっている場合がありますので、確認する前に安全な所に吐水して、最初の湯は捨ててください。

・シャワーをかけたままにして入浴者から離れない

・高温でお湯を使用した後は、必ずミキシングを低温側に回す

2 止水栓でシャワーの開閉及び湯量調節を行います。

3 ハンドシャワーの手元ボタンを押すごとにシャワーのON/OFFを切り換えることができます。

 注意　使用後は止水栓で湯を止めてから、シャワーホース内の加圧水をすてる

ご使用後、止水栓を止めホース内の加圧水をすてたら手元ボタンを押してシャワーの吐出を止めておいてください。

シャワードームと給湯ユニット（LV-120 又は LV-130）の組み合わせの場合

1 給湯ユニットのハンドシャワーミキシングで、シャワーの温度及び、流量の調節を行います。

2 湯温調節ノブを「あつい」の方に回すと温度が上がり、「ぬるい」の方に回すと温度が下がります。

 警告　**・シャワーを入浴者にかける前や使用中も絶えず手で温度を確認**

熱い湯が配管内に溜まっている場合がありますので、確認する前に安全な所に吐水して、最初の湯は捨ててください。

・温度調節ノブはゆっくり回す

・シャワーをかけたままにして入浴者から離れない

・高温でお湯を使用した後は、必ず温度調節ノブを元に戻す

3 流量調節ノブでシャワーの開閉及び流量調節を行います。

 注意　**流量調節ノブはゆっくり回す**

4 ハンドシャワーの手元ボタンを押すごとにシャワーの ON/OFF を切り換えることができます。

 注意　**使用後は流量調節ノブで湯を止めてから、シャワーホース内の加圧水をすてる**

ご使用後、止水栓を止めホースの加圧水をすてたら手元ボタンを押してシャワーの吐出を止めておいてください。

シャワードームの旋回

シャワードームは入浴可能な位置を基準とし、左右に 90°旋回します。

1 シャワードームのドーム旋回用ロック解除ペダルを足で軽く踏み込み、ロックを解除します。

2 ゆっくりとシャワードームを旋回させます。

3 90°の位置でロックがかかります。

 注意　**シャワードームを旋回時注意**

動作範囲内に別の入浴者等がいないことを必ず確認してください。

入浴・出浴の手順

◎入浴・出浴の操作は“各部の操作方法”の項の注意事項に注意しながら各操作を行ってください。

 注意　入浴操作の手順を正しく行う

1 給湯の準備

最初の入浴者に対し、P.12 ボディシャワーに従って、給湯の準備を行います。

2 ストレッチャーへの移乗

① ストレッチャーを平らな床面に置き、キャスターをロックします。

注意　移乗は段差のない安定した床面で行う

② 担架の手すりをはね上げて、担架に入浴者を乗せます。入浴者を乗せたら安全ベルトを掛け、手すりを戻してしっかりと握らせます。

警告　・担架に乗せたら、必ず安全ベルト及び手すりを使用する

ベルトをしなかったり、固定が適切でないと、入浴者が落下してけがをする恐れがあります。

・担架上での移乗・洗髪・洗身作業時は落下に注意

3 シャワードームへの連結

青マーク（4か所）

① 扉開閉スイッチを操作して、扉を全開にします。

② キャスターのロックを解除します。

③ ストレッチャー水受盤の青マークとシャワードーム駆動部カバーの青マークを合わせるようにして、ストレッチャーをシャワードームに入れます。

④ シャワードームのストレッチャーガイドに沿ってストレッチャーを停止する位置まで押し、停止した所でストレッチャーのロックペダルを踏んでシャワードームと連結します。

⑤ 連結後、キャスターをロックします。

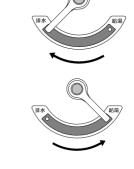
 注意　入浴時にストレッチャーを、正しくセットする

4 入浴

① シャワードームの開閉扉を全閉にし、カーテンを閉じます。

② シャワードーム駆動部カバーの排水切替バルブを「排水」にセットします。

③ 排水ホースから出るお湯が適温であるかどうか直接手で確認してから、排水切替バルブを「給湯」にセットし、ボディシャワーを使用します。
ボディシャワーの使用にあたっては、P.12 ボディシャワーの項をよく読んでから操作してください。

④ ボディシャンプーを使用する場合は、P.15 ボディシャンプーの使用についての項をよく読んでから操作してください。

注意　・シャワー噴射中は扉を開けない

・緊急時は速やかに入浴者を出す

停電等の緊急時はシャワードームからストレッチャーを速やかに引き出してください。また扉を手動で開いて入浴者をシャワードームの外へ出すこともできます。

5 出浴

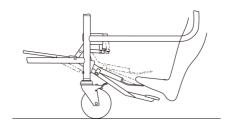
① 入浴時間（平均５～６分／人）が経過したら、ボディシャワーを止めます。

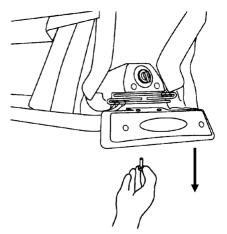
② カーテンを開けて開閉扉を全開にします。

③ 水滴が垂れないようにカーテンの裾を水受盤に入れます。

④ キャスターのロックを解除します。

⑤ 解除ペダルを踏み、シャワードームとの連結を解除します。

⑥ ストレッチャーをシャワードームから移動させ、入浴者を清拭します。

お手入れの仕方

- 操作スイッチは、雑巾等で軽く拭く程度にしてください。
- 本機のカバー類はFRP及びプラスチック製です。たわし等で擦りますと傷がつきますので、スポンジ等の柔らかいもので洗浄してください。
- ステンレス部は、水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴をきれいに拭きとってください。
- カーテンは取り外して洗浄や乾燥作業を行うことができます。
  ①左右の開閉扉に取り付けられているカーテンのマジックテープを外します。
  ②カバー開閉スイッチ裏側の２か所のネジを外して、カバーを取り外します。
  ③カーテンレールに沿って左右のカーテンを取り外します。

- 介護窓のカーテンは取り外して洗浄や乾燥作業を行なうことができます。取り外しの際は、介護窓の窓枠についているフックからカーテンを外してください。また取り付の際も、フックにカーテンをひっかけ、裾をシャワードーム内に入れてください。

 注意　カーテンが損傷したら新しいものに交換する

このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
電源ランプがつかない	シャンプー薬液投入レバーが「止」の位置にない（LV-120のみ）	シャンプー薬液投入レバーを「止」の位置にしてください（LV-120のみ）
扉開閉スイッチを押しても動かない	電源が入っていない	電源を入れてください
	アクチュエーターのトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください
	電気系統のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください
デジタル温度計に“ＥＯ”“Ｅ１”表示が出た場合	センサー異状	最寄りの営業所にご連絡ください
シャワーが出てこない	吐出温度安全装置の作動	適温になるように調節してください
作動時に異音がする	アクチュエーターのトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください
	グリス切れ	最寄りの営業所にご連絡ください
給湯水が一定しない	Ｙストレーナーの目詰まり	最寄りの営業所にご連絡ください
給湯温度が一定しない	Ｙストレーナーの目詰まり	最寄りの営業所にご連絡ください
	圧力比が使用条件外	圧力比を適正値に調節してください
給湯温度が低すぎる、または高すぎる	ミキシング調整不良	ミキシングを再調節してください
	給湯水の圧力比が使用条件外	圧力比を適正値に調節してください

その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。
ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器の保守・点検について

・本製品をご使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。

・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。

・**点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	カバー及び扉のガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、ドライバー等による確認
	ドーム内の汚れまたは、不要物	目視
	シャワードームや給湯ユニットからの湯の漏れ	目視
機能	電源ランプの点灯	目視
	タンクに給湯中の給湯温度計の温度表示	手をタンク内に入れて湯が適温であることを確認し、表示と比較
	給湯ミキシングの温度調整	高温側と低温側に回し温度表示が変化することを確認
	高温警告ランプの作動	高温側(45℃以上)に回したとき警報ランプが点滅することを確認 (確認後、40℃前後の適温に戻すこと)
	シャワーミキシングの温度調整	高温側と低温側に回し温度が変化することを確認
	給湯温度の範囲	給湯ミキシングを高温側(45℃以上)と低温側(35℃以下)に回し、それぞれで給湯して安全装置が働くか確認
	ボディシャンプー・薬液の量	目視
(ストレッチャーをセット)	扉の開閉	扉の開閉及びシールがスムーズか確認
	仰臥位、長座位とも問題なくセットできるか	目視

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレーム及びFRP部品は5年間、それ以外は１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　　：　*LV-100/120/130*

  お買い上げ：　　年　　月

  故障状況（できるだけ詳細に）

  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決してあけたり分解したりしないでください。

定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

耐用期間

10年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

消耗品と損耗品

消耗品（使用により、量などが減少していくもの）

ボディシャンプー液 / 薬液（20%ヒビテングルコネート液）

補給は、お客様により実施願います。

損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が約２年のもの。

  シャワーヘッド / 作動油 / 薬液ポンプの継手配管 / 薬液チューブ

- 正常な使用において、交換の目安が約３年のもの。

  ミキシングバルブ / シャワーホース / 給湯・給水ホース / 排水ホース
  油圧ホース・チューブ / 温度センサー / カーテン /

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

●シャワードーム：LV-100

項目		仕様
外径寸法		1865(L)×870(W)×1560～1950(H)mm
総 重 量		約 200 kg
電　　源		単相 100V 50/60 Hz 15A アース付
電　　力		70/70W
シャワーノズル数		上側８基
扉開閉方式		電動アクチュエーター方式
材質	フレーム	ステンレス
	駆動部カバー	プラスチック(FRP)
	開閉カバー(扉)	プラスチック
機能，構成		観察窓：両側各１，介護窓：両側各３
付 属 品		注意銘板　１枚

●貯湯タンク付給湯ユニット：LV-120(オプション)

項目		仕様
外形寸法		545(L)×872(W)×1250(H)mm
重　　量		約 110 kg
電　　源		単相 100V 50/60 Hz 15A アース付
電　　力		160/190W
貯湯タンク容量		約 70ℓ
温度制御		給湯シャワー用サーモミキシング 吐出温度安全制御付
温度調整範囲		約 36～44℃
温 度 計		２か所(給湯温度とタンク内温度),デジタル表示
加圧ポンプ吐出湯量		約 20ℓ /min
材質	フレーム	ステンレス
	貯湯タンク	ステンレス
	カ バ ー	プラスチック
その他の機能		シャンプー液，薬液吐出装置

●給湯ユニット：LV-130(オプション)

項目		仕様
外形寸法		435(L)×630(W)×805(H)mm
重　　量		約 35 kg
電　　源		単相 100V 50/60 Hz 15A アース付
電　　力		50W
温度制御		給湯シャワー用サーモミキシング 吐出温度安全制御付
温度調整範囲		約 36～44℃
温 度 計		１か所(ボディシャワー給湯温度)
材質	フレーム	ステンレス
	カ バ ー	プラスチック
その他の機能		シャンプー液吐出装置

注）都合により予告なく仕様の変更を行う場合が有ります。